

新しい豊岡市 教育行動計画を

策定しました！



芝生化された校庭では
力いっぱい運動する子どもたちの
笑顔がはじけます

市教育委員会では、「豊岡の子どもは豊岡で育てる」という視点に立ち、市独自の教育行動計画（計画期間 平成18年度～平成22年度）を策定し、子どもたちを育むための具体的な取組みを学校園・家庭・地域・行政で実践してきました。

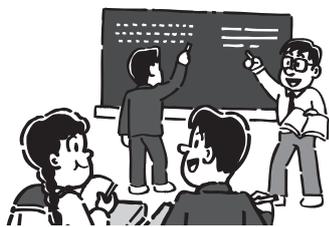
このたび、市の組織再編、子どもを取り巻く現状、国県の保育・教育に関する考え方を踏まえ、当初の計画より1年早く見直し作業を行ってきました。

その結果、現計画の86の具体的な取組みを整理し、新しい取組みを加えて75項目に構成し直した、新たな教育行動計画を策定しました。

《問合せ》子ども教育課 ☎ 23-1451

今 豊岡の子どもたちは

平成21年度全国学力・学習状況調査によると、市内の小学6年生では3人に1人が、中学3年生では4人に1人が、1日当たり3時間以上、テレビやDVDなどを見たり、聞いたりしている



と回答しています。また、「難しいことで、失敗を恐れないで

挑戦していますか」との調査では、市内小・中学校の子ども3人に1人が「あまりしていない」「全くしていない」と回答しています。

健やかな成長を願う

豊岡の子どもたちが健やかに成長し、生涯にわたって生き生きと輝くためには、「豊かな心」「健やかな体」「確かな学力」といった「生きる力」を身に付ける必要があります。

そのために、現計画の取組みを整理し、新しい取組みを加えて新たな教育行動計画を策定しました。

新しい教育行動計画は

◆3つの大作戦を継続

これまでの教育行動計画では、3つの大作戦として次の取組みを重点的に展開してきました。

○基礎学力・基礎体力パワーアップ大作戦

○子どもの野生復帰大作戦

○子どもの安全を守るまちぐるみ大作戦

3つの大作戦の具体的な取組み内容は、新しい教育行動計画にも引き継いでいます。

◆「根っこづくり」「幹づくり」「土づくり」の視点

新しい教育行動計画は、子どもの育ちを1本の木に例え、就学前の取組みを「根っこづくり」、義務教育期間の取組みを「幹づくり」と位置付け、子どもの成長に合わせた具体

的な取組みを進めていきます。

また、「土づくり」には、

根っこや幹の育ちを支える家庭や地域での具体的な取組みを明記しています。

さらに、今回の教育行動計画は、家庭教育支援の取組みを「親育ちの場づくり」として

まとめるなど、家庭教育の充実に入れたものとなっています。

◆役割の分担と連携

学校・家庭・地域・行政が力を合わせて取り組む体制の充実を図るため、具体的な取組みを「根っこ・幹・土」づくりに分けて位置づけ、「いつ・どこで・だれが・何をすべきか」を明確にしています。



教育行動計画の概要

1 基本理念

「子どもたちが生涯にわたって生き生きと輝く教育をめざして」

2 めざす子ども像

- | | |
|---------|--------------------------------------|
| ○ 豊かな心 | 思いやる心 感動する心 強い心を持ち、夢の実現に向け、頑張り続ける子ども |
| ○ 健やかな体 | 望ましい生活習慣や体力を身に付け、たくましく生きぬく子ども |
| ○ 確かな学力 | 基礎的な知識や技能を持ち、自ら学び続ける子ども |

3 計画の対象

0歳～15歳(中学3年生)

4 計画の期間

平成22年度～平成26年度

5 具体的な取組

子どもの育ちを1本の木に例え、子どもの成長に合わせた取組みを行っていきます。

- | | |
|------------|--------------------------|
| ○ 根っこづくり | 保育所・幼稚園で行う園児に直接関わる取組み |
| ○ 幹づくり | 小学校・中学校で行う児童・生徒に直接関わる取組み |
| ○ 土づくり | 子どもたちのために家庭および地域で行う取組み |
| ○ 親育ちの場づくり | 家庭教育の充実を図る取組み |
| ○ 子育ちの場づくり | 保育・教育環境の整備を図る取組み |